



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 サカイオーベックス株式会社
 コード番号 3408 URL <http://www.sakaiovox.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松木伸太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 室坂浩一
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 0776-36-5800

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	6,140	△3.4	459	27.0	800	10.1	511	△6.8
29年3月期第1四半期	6,353	3.6	361	6.0	727	△3.6	548	9.1

(注)包括利益 30年3月期第1四半期 667百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △111百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	81.66	81.23
29年3月期第1四半期	86.28	86.03

※平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	27,248		16,980			62.0
29年3月期	26,713		16,594			61.8

(参考)自己資本 30年3月期第1四半期 16,889百万円 29年3月期 16,504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		0.00	—	45.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,500	△0.9	800	8.0	1,400	6.5	950	△1.6	151.71
通期	26,000	2.5	1,900	23.0	2,650	10.3	1,850	△12.9	295.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	6,636,258 株	29年3月期	6,636,258 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期1Q	374,451 株	29年3月期	374,397 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	6,261,816 株	29年3月期1Q	6,362,070 株
----------	-------------	----------	-------------

※平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しています。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善が続く中、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、米国の経済政策や新興国、資源国の経済動向には不確実性も見受けられ、今後の先行きは、依然不透明な状況が続いております。

この様な経営環境の中、当社グループの当第1四半期の業況は、主力の染色加工事業は増収となりましたが、繊維販売事業等が減収となったことにより、グループ全体では減収となりました。利益面では、エネルギー価格が上昇傾向にあるものの、製造原価の低減に取り組んだこと等により、営業利益、経常利益はいずれも増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用の増加により減益となりました。

当第1四半期の当社グループの売上高は6,140百万円と前年同期比213百万円(△3.4%)の減収となり、営業利益は459百万円と前年同期比97百万円(27.0%)の増益、経常利益は800百万円と前年同期比73百万円(10.1%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は511百万円と前年同期比37百万円(△6.8%)の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

(染色加工事業)

当事業では、婦人衣料用途が伸び悩む中、主力のユニフォーム用途や自動車関連資材用途が堅調に推移し、増収となりました。利益面では、エネルギー価格が上昇傾向にありましたが、グループ全体での工場稼働の連携による効率化や生産ロスの削減等に引き続き取り組んだことから収益力が向上し、増益となりました。

当事業の売上高は3,159百万円と前年同期比28百万円(0.9%)の増収となり、営業利益は261百万円と前年同期比49百万円(23.5%)の増益となりました。

(繊維販売事業)

テキスタイル事業は、主力のユニフォーム用途が堅調に推移する中、更なる事業拡大に向け、用途展開の拡充や差別化商品の開発に取り組みました。アパレル事業は、OEM事業の再構築に取り組むとともに、ODM事業の強化に向け、テキスタイル、縫製の両事業と連携し、商品開発、新規商流・顧客の開拓に注力しました。酒伊貿易(上海)有限公司は、主力であるアセアン地域を活用した事業が伸び悩みました。

当事業の売上高は1,764百万円と前年同期比157百万円(△8.2%)の減収となりましたが、営業利益は98百万円と前年同期比47百万円(92.5%)の増益となりました。

(制御機器事業)

制御装置関連は、主力の自動車プレス機向けは堅調に推移したものの、産業プラント向けが伸び悩みました。電力工事関連は、老朽化設備の更新需要に支えられ受注は堅調に推移したものの、売上は工事期間の長期化により伸び悩みました。情報システム関連は、システム開発案件が低迷する一方、ハードウェアの更新案件が堅調に推移しました。

当事業の売上高は352百万円と前年同期比117百万円(△25.0%)の減収となり、営業利益は44百万円と前年同期比25百万円(△36.2%)の減益となりました。

(その他の事業)

織布事業は、衣料消費の低迷により、従来好調であった織物用糸加工が停滞するとともに、高密度織物が前期に引き続き低調でした。水産資材事業は、主力である沖縄県での中層浮魚礁の拡販に注力しました。建設不動産事業は、民間分野の工事案件や一般住宅案件が堅調に推移しました。複合部材事業は、主力のモータースポーツ用途に注力する一方、スポーツ・レジャー等その他の用途展開に向けた取り組みを進めました。縫製事業は、主力である百貨店系アパレル向けの商品販売で厳しい状況が続く中、ODM事業の強化を図るべく、当事業の技術力を生かした商品開発や顧客提案の推進に努めました。

その他の事業の売上高は863百万円と前年同期比33百万円(4.0%)の増収となり、営業利益は50百万円と前年同期比22百万円(79.5%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ535百万円増加して27,248百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の増加などにより123百万円増加して12,940百万円となり、固定資産は、投資その他の資産の増加などにより412百万円増加して14,308百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ149百万円増加して10,267百万円となりました。流動負債は、49百万円増加して6,761百万円となり、固定負債は、99百万円増加して3,506百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ385百万円増加して16,980百万円となりました。これは、株主資本は229百万円増加し、その他の包括利益累計額が155百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の61.8%から62.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,381,555	4,958,627
受取手形及び売掛金	4,305,075	3,990,269
電子記録債権	1,349,382	1,187,396
商品及び製品	1,264,920	1,210,550
仕掛品	509,386	546,505
原材料及び貯蔵品	395,417	369,289
その他	650,457	697,675
貸倒引当金	△39,096	△20,081
流動資産合計	12,817,098	12,940,231
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,477,490	2,434,271
機械装置及び運搬具(純額)	874,172	816,112
土地	2,537,533	2,537,533
リース資産(純額)	76,146	70,827
建設仮勘定	—	10,837
その他(純額)	40,991	38,299
有形固定資産合計	6,006,335	5,907,881
無形固定資産		
のれん	18,215	15,938
その他	115,580	117,224
無形固定資産合計	133,795	133,163
投資その他の資産		
出資金	5,053,776	5,460,988
その他	2,761,472	2,865,582
貸倒引当金	△59,248	△59,240
投資その他の資産合計	7,756,000	8,267,330
固定資産合計	13,896,130	14,308,374
資産合計	26,713,229	27,248,606

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,431,008	3,272,816
電子記録債務	277,649	470,616
短期借入金	1,201,145	1,210,150
未払法人税等	479,933	186,015
賞与引当金	532,665	282,338
その他	789,908	1,340,029
流動負債合計	6,712,309	6,761,965
固定負債		
長期借入金	1,769,655	1,733,550
環境対策引当金	249	26,292
退職給付に係る負債	862,611	863,131
資産除去債務	109,779	110,084
その他	663,884	772,960
固定負債合計	3,406,180	3,506,018
負債合計	10,118,490	10,267,984
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,655,044	4,655,044
資本剰余金	1,635,292	1,635,292
利益剰余金	10,047,047	10,276,577
自己株式	△752,670	△752,765
株主資本合計	15,584,713	15,814,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	565,973	638,854
繰延ヘッジ損益	△1,816	1,703
為替換算調整勘定	407,733	486,890
退職給付に係る調整累計額	△52,196	△52,067
その他の包括利益累計額合計	919,693	1,075,381
新株予約権	47,646	47,646
非支配株主持分	42,687	43,446
純資産合計	16,594,739	16,980,622
負債純資産合計	26,713,229	27,248,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	6,353,150	6,140,103
売上原価	5,434,994	5,206,799
売上総利益	918,155	933,303
販売費及び一般管理費	556,572	474,089
営業利益	361,583	459,214
営業外収益		
受取利息	1,752	482
受取配当金	25,919	18,771
持分法による投資利益	321,583	318,647
その他	33,975	14,017
営業外収益合計	383,231	351,919
営業外費用		
支払利息	10,014	8,181
その他	7,308	2,068
営業外費用合計	17,323	10,249
経常利益	727,491	800,883
特別利益		
補助金収入	14,877	—
特別利益合計	14,877	—
特別損失		
固定資産除却損	0	26
固定資産圧縮損	11,380	—
環境対策引当金繰入額	—	26,043
特別損失合計	11,380	26,069
税金等調整前四半期純利益	730,988	774,814
法人税、住民税及び事業税	213,454	192,112
法人税等調整額	△31,954	70,645
法人税等合計	181,500	262,758
四半期純利益	549,488	512,055
非支配株主に帰属する四半期純利益	597	742
親会社株主に帰属する四半期純利益	548,890	511,313

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	549,488	512,055
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△82,164	72,898
繰延ヘッジ損益	△10,222	3,520
為替換算調整勘定	△18,821	△9,596
退職給付に係る調整額	6,619	129
持分法適用会社に対する持分相当額	△556,005	88,753
その他の包括利益合計	△660,593	155,705
四半期包括利益	△111,105	667,761
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△111,724	667,001
非支配株主に係る四半期包括利益	619	759

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	制御機器 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,131,562	1,921,826	470,159	5,523,548	829,601	6,353,150	—	6,353,150
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6,680	13,494	26,156	46,332	98,503	144,835	△144,835	—
計	3,138,243	1,935,321	496,316	5,569,881	928,104	6,497,986	△144,835	6,353,150
セグメント利益	211,527	51,401	69,108	332,037	28,153	360,191	1,392	361,583

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、縫製事業等を含んでいます。
 2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	染色加工 事業	繊維販売 事業	制御機器 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,159,674	1,764,722	352,550	5,276,946	863,156	6,140,103	—	6,140,103
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	8,340	6,400	55,394	70,135	139,143	209,278	△209,278	—
計	3,168,015	1,771,122	407,944	5,347,081	1,002,300	6,349,382	△209,278	6,140,103
セグメント利益	261,192	98,957	44,069	404,219	50,523	454,742	4,471	459,214

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、織布事業、縫製事業等を含んでいます。
 2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去です。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを、従来の「染色加工事業」「繊維販売事業」の2事業に「制御機器事業」を追加し、3事業に変更することとしました。

この変更は、従来「その他」に含めていました、電子機器に関連する事業である「制御機器事業」「制御システム事業」「システム事業」の3事業の重要性が高まっていることから、その管理方法について見直しを行い、これらの事業内容が類似していること等を踏まえ、3事業を集約のうえ、「制御機器事業」の名称で報告セグメントに追加するものです。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。